

中国古典に由来する日中熟語や諺の相違点について (7)

著者	凌 志偉
出版者	法政大学言語・文化センター
雑誌名	言語と文化
巻	9
ページ	135-175
発行年	2012-01-10
URL	http://hdl.handle.net/10114/6947

中国古典に由来する日中熟語や 諺の相違点について（7）

凌 志 偉

私は 1991 年からこのテーマに取り組みましたが、当時、中国の漢語大辞典がまだ完全に出版されておらず、使用可能の書籍は“辞源”，“辞海”および数冊の成語辞典だけでした。検索で良く使われるインターネットも当時まだ普及しておらず、そのため、最初の 4 回において、出典は日中双方ではなく、時代が先のものしか挙げないなど、かなり不備がありました。意味や用法の相違を調査する上で出典を明確にすることは欠かせない作業です。そのため、最初の 4 回分についてはあらためて日中双方の出典を列挙し、相違点を調査することになりました。

中国の古典から来た言い回しではあるが、中国語としては熟語になっておらず、そのまま引用する項目、また別の言い方になっている項目については中国語の出典を挙げず、項目の前に▲の印を付けました。

今回の調査において、中国語の出典はあるが、日本語に関しては日本国語大辞典（小学館，第一版）に出典が登載されておらず、現代の日本人が中国の古典から来たとは思わないかもしれない出典不明の語句は下記の通りで、項目の前に☆の印を付けました。

- 意を体する
- 意気相投ず
- 一日の計は晨（あした）にあり
- 一人（いちにん）虚を伝えれば万人実（じつ）を伝う
- 一粲（いっさん）を博す
- 一糸（いっし）掛けず（真っ裸であるという意味の時）
- 一笑（いっしょう）に付す
- 一世（いっせい）を風靡（ふうび）する

- ・浮世は夢
- ・牛に汗し棟（むなぎ）に允つ
- ・馬の耳に風
- ・雲泥の差
- ・枝の雪
- ・丸石（えんせき）を千仞（せんじん）の山に転ず
- ・鴛鴦（おし）の衾（ふすま）
- ・頤（おとがい）で人を使う
- ・同じ穴の貉（むじな）
- ・面（おもて）を冒（＝犯）（おか）す
- ・快刀乱麻を断（た）つ

また、日本語の出典ははっきりしているが、中国語の分については、漢語大辞典に出典が登載されておらず、出典不明の語句は下記の通りで、項目の前に★の印を付けました。

- ・家貧しくして孝子顕わる（家貧出孝子）
- ・命長ければ辱多し（寿则多辱）
- ・命は義に縁（よ）りて軽し（命缘义轻）
- ・海波を揚げず（海不扬波）
- ・老いては子に従（したが）え（老来从子）

中国語訳で、古典そのまま引用するが、現代あまり知られていない言い回しに対して、括弧をつけて、説明の語句を補足しました。

今まで発表した分は資料保存会に収録されましたが、この4回分は〈言語と文化〉で発表する予定です。

▲逢うは別れの始め

日：合者離之始，樂今憂所伏。

白氏文集・卷十四・和夢遊春詩

中訳：天下无不散之筵席。

* 青は藍より出でて藍より青し

日中：學不可以已。青取之于藍，而青于藍。

荀子・勸學

中訳：青出于藍而胜于藍。

* 仰いで天に愧じず，俯して地に愧じず

日中：仰不愧於天，俯不忤於人。

孟子・盡心上

中訳：仰不愧于天，俯不忤于人。俯仰无愧。

* 惡事千里を走る（＝行く）

日中：好事不出門，惡事行千里。

北夢瑣言・卷六

中訳：惡事行千里。惡事传千里。

▲^{あご}頤を外す

日：無說詩，匡鼎來，匡說詩，解人頤。

漢書・匡衡傳

中訳：（大笑いするという意味から）哈哈大笑。

注：中国語の‘解頤’はにっこり笑う（开顔欢笑）という意味です。

* 麻の中の蓬^{よもぎ}

日中：蓬生麻中，不扶而直。

荀子・勸學篇

中訳：蓬生麻中，不扶而直。

* 足を重ねて立ち，目を側^{そばだ}てて見る。

日：必湯也，令天下重足而立，側目而視矣。

史記・汲黯傳

中：故使天下之士，傾耳而聽，重足而立，闔口而不言。

漢賈誼・過秦論下

妻側目而視，側耳而聽。

戦國策・秦策一

中訳：望而生畏。闻风丧胆。重足而立，側目而视。

* ^{あした}朝に道を聞かば夕べに死すとも可なり

日中：子曰，朝聞道，夕死可矣。

論語・里仁

中訳：朝聞夕死。朝聞道，夕死可矣。

* ^{あした}朝に^{はか}夕べを謀らず

日中：吾儕偷食，朝不謀夕，何其長也。

左傳・昭西元年

中：自建武以來，高武侯，居常震怖，朝不保夕。

南史・齊巴陵王昭胄傳

中訳：朝不保夕。朝不慮夕。朝不及夕。（‘朝不谋夕’は使用頻度が低い。）

▲価千金

日：春宵一刻價千金，花有清香月有陰。

蘇軾・春夜詩

中訳：价值千金。

注：中国語としては“价值连城”のほうが良く使われます。

* 価を二つにせず

日：常採藥名山，賣於長安市，口不二價，三十餘年。

後漢書・逸民傳

中：“從許子之道，則市賈不貳。國中無偽，雖使五尺之童適市，莫之或欺。”

孟子・滕文公上

中訳：不二价

* ^{かく}頭隠して^{しり}尻隠さず

日：王笑曰，此老所謂藏頭露尾身。

隨筆・燕居雜話 - 一

中：勸周公莫便生嗔，將酒禮強勒成親，不爭我藏頭露尾，可甚的知恩報恩。

元・王曄・桃花女・第二折

中訳：藏头露尾。

* 中^{あた}らずと 雖^{いえど}も遠からず

日中：心誠求之，雖不中不遠矣。

大學

中訳：虽不中，不远矣。

▲ 羹^{あつもの}に懲^こりて 膾^{なます}を吹く

日：懲熱羹而吹整兮，何不變此志也。

楚辭・九章・惜誦

中訳：一朝被蛇咬，十年怕草绳。

* 網^{どんしゅう}吞舟の魚を漏らす

日中：網漏於吞舟之魚，而吏治蒸蒸，不至於姦。

史記・酷吏列傳序

中訳：网漏吞舟。

* 網無くて淵^{ふち}をのぞくな

日：夫不學而求知，猶願魚而無網焉。心雖勤而無獲矣。

抱樸子・勸學

中：古人有言曰，‘臨淵羨魚，不如退而結網。’

漢書・董仲舒傳

中訳：无网莫窥渊。临渊羨鱼，不如退而结网。

▲ 雨^{しやじく}車軸の如し

日：獨龍注雨如車軸，不畏不售畏不續。

王安石・夢中作詩

中訳：倾盆大雨。瓢泼大雨。滂沱大雨。

▲ 雨^{つちくれ}塊をやぶらず

日：天下太平，國無夭傷，歲無荒年，當此之時，雨不破塊，風不鳴條，旬以

一雨，雨必以夜。

鹽鐵論・水旱

中訳：歌舞升平。国泰民安。海不扬波。

* 雨に^{かみあら}沐い風に^{くしげず}櫛る

日：沐甚雨櫛疾風，置萬國。

莊子・天下

中：沐甚雨，櫛風急。

莊子・天下

中訳：栉风沐雨。沐雨栉风。

* 過^{あやまち}を^{かざ}文る

日：小人之過也必文。

論語・子張

中：言鄙陋之愚心，若逆指而文過。

漢書・楊惲傳

中訳：文过饰非。

* 過^{あやまち}を^み觀て^{ここ}斯に^{じん}仁を知る

日中：人之過也，各於其黨，觀過斯知仁矣。

論語・里仁

中訳：观过知仁。

* 過^{すなわ}っては則ち改むるに^{はばか}憚ること^{なか}勿れ

日中：主忠信，無友不如己者，過則勿憚改。

論語・學而

中訳：过则勿憚改。

▲^{あら}新たなる月

日：三五夜中新月色，二千里外故人心。

白居易・《八月十五日夜禁中獨直對月憶元九詩》

中訳：望月。満月。

注：現代中国語では‘新月’は三日月を指す。

* 新たに沐する者は必ず冠^{かんむり}を弾^{はじ}く

日中：新沐者必彈冠，新浴者必振衣。

楚辭・漁父辭

中訳：新沐者必彈冠。

* 蟻の穴から堤^{つつみ}も崩^{くず}れる

日中：千丈之隄，以螻蟻之穴潰。

韓非子・喻老

中訳：千里之堤，潰于蚁穴。

▲晏子^{あんし}の御^{ぎよ}

日：晏子為齊相，出，其御之妻從門閒而闕其夫。其夫為相御，擁大蓋，策駟馬，意氣揚揚，甚自得也。既而歸，其妻請去。夫問其故。妻曰，晏子長不滿六尺，身相齊國，名顯諸侯。今者妾觀其出，志念深矣，常有以自下者。今子長八尺，乃為人僕御，然子之意自以為足，妾是以求去也。其後夫自抑損。晏子怪而問之，御以實對。晏子薦以為大夫。

史記・晏嬰傳

中訳：借他人的威信扬扬自得。

* 井の中の蛙^{かわず}大海^{たいかい}を知らず。

日中：井蛙不可以語於海者，拘於虛也。

莊子・秋水

中訳：井底之蛙。井蛙。

* 夷^いを以って夷を制す（＝攻む）

日：公請擇人，使潘羅支，兵法所謂以夷攻夷。

王安石・翰林侍讀學士梅公神道碑

中：以蠻夷攻蠻夷，中國之形也。

漢書・晁錯傳

中訳：以夷伐夷。以夷攻夷。以夷制夷。

* 威ありて猛^{たけ}からず

日中：子温而厲，威而不猛，恭而安。

論語・述而

中訳：威而不猛。

* 帷^いを下^{くだ}す

日：下帷講誦，三年不窺園。

史記・董仲舒傳

中：下帷講誦，弟子傳以久次相授業，或莫見其面，蓋三年董仲舒不觀於舍園，其精如此。

史記・儒林列傳

中訳：設帳授徒。下帷講誦（使用頻度は低い）。

* 意^い至りて筆^{した}隨^がう

日中：吾生平作文，意之所到，則筆力曲折隨之，無不盡意。

春渚紀聞・東坡事實

中訳：意到筆隨。

* 意に介する

日：所亡少少，何足介意。

後漢書・度尚傳

中：子華使其俠客以智鄙相攻，彊弱相凌。雖傷破於前，不用介意。

列子・黃帝

中訳：介意。

* 意に適^{かな}う（＝中^{あた}る）

日：百蠻之君，靡不鄉風承流稱意，遠方殊俗，重譯而朝，澤及方外。

史記・三王世家

中：奏事中意，任用。

漢書・杜周傳

中訳：中意。

* 意を決する

日：思之既熟，決意而行。

梁武帝・凡百箴

中：將軍素以忠孝顯聞，是以士大夫不遠千里慕樂德義，今苟欲決意微幸，此何如哉。

後漢書・申屠剛傳

中訳：決意。

☆ 意^{たい}を体する

日：出典なし。

中：寺僧之主持者為滇人，頗能體主人意款客焉。

徐霞客遊記・滇遊日記六

中訳：体察其意

* 意を尽くす

日：子曰，聖人立象以盡意，設卦以盡情偽，繫辭焉以盡其言。

易經・繫辭傳

中：書不盡言，言不盡意。

易經・繫辭上

中訳：充分表达意見。暢抒己見。尽意（使用頻度は低い）。

▲ 意を強くする

日：吳公差彊人意，隱若一敵國矣。

後漢書・吳漢傳

中訳：加强信心。

* 意を迎える

日中：智算警穎，迎意輒悟。

唐書・楊貴妃傳

中訳：迎合人意。迎意（使用頻度は低い）

▲^い彝^とを乗る

日：民之秉彝，好是懿德。

詩經・大雅・烝民

中訳：執守天之常道。

*^い異域^まの鬼となる

日中：生為別世之人，死為異域之鬼。

李陵答蘇武書

中訳：死为异域之鬼。

▲言うは易く^{おこな}行^{かた}うは難し

日：言之易，而行之難。

鹽鐵論・利議

中訳：说着容易，做起来难。说时容易做时难。

*^{きゅう}家^{ひと}給し人足る

日：天下家給人足，頌聲並作。

漢書・貢禹傳

中：行之十年，秦民大說，道不拾遺，山無盜賊，家給人足。

史記・商君列傳

中訳：家給人足。人给家足。

▲家に杖^{つゑ}つく頃^{ころ}

日：五十杖於家，六十杖於鄉，七十杖于國，八十杖於朝。

禮記・王制

中訳：半百。知命。

★家貧しくして^{こうし}孝子^{あら}顯わる

日：家貧顯孝子，世亂識忠臣。

寶鑑

中：出典なし。

中訳：家貧显孝子。家贫出孝子。

* 家貧しければすなわち良妻を思う

日中：魏文侯謂李克曰，先生嘗教寡人曰，家貧則思良妻，國亂則思良相。

史記・魏世家

中訳：家貧思良妻。

* 怒りを遷^{うつ}す

日中：有顔回者，好學，不遷怒，不貳過。

論語・雍也

中訳：迂怒。

☆ * 意気相投ず

日：出典なし。

中：由來意氣合，直取性情真。

杜甫・贈王二十四侍御

中訳：意气相投。

* 石が流れて木の葉が沈む

日中：夫眾口之毀譽，浮石沉木。

陸賈・新語・辯惑

中訳：浮石沉木。三人成虎。事物顛倒，不合道理。

▲ 石に 漱^{くちすす}ぎ流れに 枕^{まくら}す

日：楚少時欲隱居，謂濟曰，當欲枕石漱流。誤云《〈漱石枕流〉》。濟曰，流非可枕，石非可漱。楚曰，所以枕流，欲洗其耳。所以漱石，欲厲其齒。

晉書孫楚傳

中訳：死不服輸。狡辯。

* 石に立つ矢

日中：廣出獵，見草中石，以為虎而射之，中石沒鏃，視之石也。

史記・李廣傳

中訳：矢（箭）可穿石。精诚所至，金石为开。

* 石に^{まくら}枕し流^{くちす}れに 漱ぐ

日：枕石漱流，吟詠緼袍，偃息於仁義之途。

三國志・蜀書・彭萊傳

中：遨遊八極，枕石漱流飲泉。

三國・魏・曹操・秋胡行

中訳：隱居。蟄居。息景（影）。枕石漱流（使用頻度は低い）。

* 石を^{いだ}抱^{ふち}きて淵に入る

日中：故懷負石而赴河，是行之難者也，而申徒狄能之。

荀子・不苟

中訳：喻人以死明志。負石赴河（使用頻度は低い）。

* 衣食足れば則ち^{すなわ}榮^{えい}辱^{じよく}を知る

日中：倉廩實則知禮節，衣食足則知榮辱。

管子・牧民

中訳：衣食足則知榮辱。

▲至れり尽くせり。

日：至矣盡矣，不可以加矣。

莊子・齊物論

中訳：无微不至。尽善尽美。

* 一を聞いて十を知る

日中：回也，聞一以知十。賜也，聞一以知二。

論語・公冶長

中訳：聞一知十。举一反三。触類旁通。

* 一を以て^{ばん}万を知る（察す）

日中：君子故曰，以近知遠，以一知萬，以微知明，此之謂也。

荀子・非相

中訳：以一知万。聞一知十。举一反三。触類旁通。

*一言以て之を蔽^{おほ}う

日中：子曰、詩三百、一言以蔽之、曰思無邪。

論語・為政

中訳：一言以蔽之。

☆一日の計は^{あした}晨にあり

日：出典なし。

中：一年之計在於春、一日之計在於晨。

梁・元帝・纂要

中訳：一日之计在于晨。

*一日の長

日：以吾一日長乎爾、毋吾以也。

論語・先進

中：陶冶世俗、與時浮沉、吾不如子。論王霸之餘策、覽倚仗之要害、吾似有一日之長。

世語新説・品藻

中訳：一日之长。

注：日本国語大辞典は出典として、〈論語・先進〉にある言葉を挙げているが、経験・技能・知識などに若干すぐれているという意味から、中国語の出典は別になっている。

☆一人虚^{いちにん}を伝うれば万人実^{じつ}を伝う

日：出典なし。

中：問、如何是東禪家風。師曰、一人傳虚、萬人傳實。

景德傳燈錄・契訥禪師

中訳：一人伝虚、万人伝実。一犬吠形、百犬吠声。

*一木大廈^{たいか}の崩^{くず}るるを支^{ささ}うる能^{あた}わす

日：大廈將顛、非一木所支也。

隋王通・文中子・事君

中：元稹如北廈門、拉攏自欲壞、非一木所能支。

南朝・宋・世說新語・任誕

中訳：一木難支。独木難支。

* 一葉^{いちよう}落ちて天下の秋を知る

日中：以小明大，見一葉落，而知歲之將暮。

淮南子・說山訓

唐人有詩云，山僧不解數甲子，一葉落知天下秋。

宋・唐庚・文錄

中訳：一葉知秋。

* 送^{いつ}を以て勞を待つ

日中：以近待遠，以佚待勞。以飽待飢，此治力者也。

孫子・軍爭

中訳：以逸待勞。

* 一家を機杼^{きちよ}す

日中：常語人云，文章須自出機杼，成一家風骨，何能共人同生活也。蓋譏世人好竊他文，以為己用。

北史・祖瑩傳

中訳：机杼一家。独自机杼。自出机杼。

* 一家を立てる（＝成す）

日：公權初學王書，遍閱近代筆法，體勢勁媚，自成一家。

舊唐書・柳公權傳

中：天文則星占，月會，渾圖，周髀之流，藝文則四部，七錄，中經，秘閣之輩，莫不各踰三篋，自成一家。

唐・劉知幾・史通・書志

中訳：自成一家。

* 一竿^{いっかん}の風月

日中：回首壯遊真昨夢，一竿風月老南湖。

陸游・感舊詩

中訳：一竿风月。

* 一簣^{いっき}の功

日中：為山九仞，功虧一簣。

書經・旅獒

中訳：功亏一簣。

* 一饋^{いっき}に十起

日中：禹之時，以五音聽治，……當此之時，一饋而十起，一沐而三捉髮，以勞天下之民。

淮南子・汜論訓

中訳：一饋十起。

* 一掬^{いっきく}の涙

日中：遙傳一掬淚，為我達揚州。

李白・秋浦歌

中訳：一掬泪。

* 一驚^{いっきょう}を喫する

日中：大尉見了又喫一驚，撇了手爐叫一聲，我今番死也。

水滸傳・第一回

中訳：(大) 吃一惊。

* 一犬^{きょ}虚^ほに吠ゆれば万犬^{ばんけんじつ}吠を伝う

日中：諺曰，一犬吠形，百犬吠聲，世之疾，此固久矣哉。

王符・潜夫論・賢難

中訳：一犬吠形，百犬吠声。

* 一見旧の如し

日：一見如舊識，一言知道心。

王維・送權二詩

中：太宗以燉煌公徇渭北，杖策上謁軍門，一見如舊。

新唐書・房玄齡傳

中訳：一見如故。一見如旧。

☆*一^{いっさん}髻を博す

日：出典なし。

中：廿年劍化，一旦珠還，遙稔知不足齋主人，應不禁掀髯一髻也

清・楊復吉・《海鷗小譜跋》

中訳：以（聊）博一髻。

☆*一^{いっし}糸掛けず

①

日：徧界難藏真薄相，一絲不掛且逢場。

蘇軾・戲贈虔州慈雲寺鑒老

中：一絲不掛魚脫淵，萬古同歸蟻旋磨。

黃庭堅・僧景宣相訪寄法王航禪師

中訳：（のびのびと自由である。かかわるものがないという意味から）了无牽挂。

②

日：出典なし。

中：放閑老兵殊耐冷，一絲不掛下冰灘。

楊萬里・誠齋集二七清曉洪澤放閑四絕句詩

中訳：（真っ裸であるという意味から）一丝不挂。

*一將功成りて万^{ばんこつ}骨枯る

日中：憑君莫話封侯事，一將功成萬骨枯。

曹松・亥歲詩

中訳：一將功成万骨枯。

☆一笑^{いっしょう}に付す

日：出典なし。

中：以此知義海，《西清》寡陋，而妄為之說，可付之一笑。

宋・吳曾《能改齋漫錄・辨誤三》

中訳：付之一笑。

* 一寸^{いっすん}の光陰^{こういん}軽んずべからず

日中：少年易老學難成，一寸光陰不可輕。

朱熹・偶成詩

中訳：一寸光陰不可輕。

☆一世^{いっせい}を風靡^{ふうび}する

日：出典なし。

中：個人主義，漸得勢力，所謂民約說，人權論等，漸風靡一世。

梁啟超・生計學學說沿革小史第八章

中訳：風靡一世。风行一世。

▲一簞^{いったん}の食^し一瓢^{いっぴょう}の飲^{いん}

日：一簞食，一瓢飲，在陋巷。

論語・雍也

中訳：一簞食，一瓢飲。

▲一旦^{いったんかんきゅう}緩急あれば

日：今公常從數騎，一旦有緩急，寧足恃乎。

史記・袁盎傳

中訳：一旦危急。

* 一籌^{いっちゅう}を輸^ゆする

日中：問君此笑是喜否，道得老夫輸一籌。

陸游・九月六夜夢中作笑詩

中訳：略逊（輸）一籌。稍逊一籌。

* 一朝^{いっしょう}の怒りにその身を忘る

日中：一朝之忿，忘其身，以及其親，非惑與。

論語・顏淵

中訳：一朝之忿忘其身。

152

*一丁^{いっていじ}字^しを識^しらず

日：嘗曰，天下無事，而輩挽兩石弓，不如識一丁字。

唐書・張弘靖傳

中：今天下無事，汝輩挽得兩石力弓，不如識一丁字。

舊唐書・張弘靖傳

中訳：目不识丁。

*一擲^{いってきけん}乾坤^{こん}を賭^とす

日中：誰勸君王回馬首，真成一擲賭乾坤。

韓愈・過鴻溝詩

中訳：一擲乾坤。

*一頭^{いっとう}地を抜く

日：軾以書見脩。修語梅聖俞曰，吾當避此人出一頭地。

宋史・蘇軾傳

中：讀軾書，不覺汗出。快哉快哉。老夫當避路，放他出一頭地也。

歐陽修・與梅聖俞書

中訳：出人頭地。出类拔萃。

*一敗^{まろ}地に塗れる

日中：天下方擾，諸侯並起，今置將不善，壹敗塗地。

史記・高祖本紀

中訳：一敗塗地。

*一髮^{せんきん}千鈞を引く

日：漢氏以來，群儒區區修補，百孔千瘡，隨亂隨失，其危如一髮千鈞。

韓愈・與孟尚書書

中：夫以一縷之任，係千鈞之重，上縣無極之高，下垂不測之淵，雖甚愚之人，猶知哀其將絕也。

漢書・枚乘傳

中訳：一发千鈞。

* 一斑^{いっばん}を見て全豹^{ぜんびょう}を卜^{ぼく}す

日中：此郎亦管中窺豹，時見一斑。

晉書・王獻之傳

中：王子敬數歲時，嘗看諸門生搏蒲，見有勝負，因曰，南風不競。門生輩輕其小兒，適曰，此郎亦管中窺豹，時見一斑。

南朝宋・劉義慶・世說新語・方正

中訳：窺豹一斑。管中窺豹。

* 一飯^{いっばん}の徳

日中：一飯之徳必償，睚眦之怨必報。

史記・范雎傳

中訳：一飯之徳。

* 一夫^{いっふ}関^{かん}に当たれば万夫^{ばんぶ}開^{ひら}くなし

日中：劍閣崢嶸而崔嵬，一夫當關，萬夫莫開。

李白・蜀道難

中：一人守隘，而千人拂敢過也。

淮南子・兵略訓

中訳：一夫当关，万夫莫开。

* 鷸^{いつぽう}蚌の争い

日中：趙且伐燕，蘇代為燕謂惠王曰，今者臣來，過易水，蚌方出曝，而鷸啄其肉，蚌合而鉗其喙。鷸曰，今日不雨，明日不雨，即有死蚌。蚌亦謂鷸曰，今日不出，明日不出，即有死鷸。兩者不肯相舍，漁者得而並禽之。

戰國策・燕策二

中訳：鷸蚌相爭，漁翁得利。

★命長ければ辱^{はじ}多し

日：多男子則多懼，富則多事，壽則多辱，是三者非所以養徳也。

莊子・天地

中：出典なし。

中訳：寿則多辱。

▲命は義に縁^よりて輕し

日：情為恩死，命縁義輕。

後漢書・朱穆傳

中訳：命縁义轻。

* 命は鴻毛^{こうもう}よりも輕し

日中：人固有一死。或重於泰山，或輕於鴻毛。用之所趨異也。

司馬遷・報任少卿書

中訳：命有轻于鸿毛。

* 命は風前^{ふうぜん}の灯の如し

日：經中世尊說偈云，命如風中燈，不知滅時節，今日復明日，不覺死輕至。

法苑珠林・二十

中：誰能知死時，所趣從何道，譬如風中燈，不知滅時節。

坐禪三昧經・卷上

中訳：命如风中灯。风灯。风前烛。风烛。

* 色^{いろ}を作^なす

日：王忿然作色曰，王者貴乎，士貴乎。

戰國策・齊策

中：鮒魚忿然作色曰，……君乃言此，曾不如早索我於枯魚之肆。

莊子・外物

中訳：忿然作色。

* 曰^{いわ}く言^{がた}難し

日：敢問，何謂浩然之氣。曰，難言也。

孟子・公孫丑・上

中：喪有死之道焉，先王之所難言也。

禮記・檀弓下

中訳：难言之隱。

* 員^{いん}に備^{そな}わるのみ

日中：妮妮廉謹，為丞相備員而已，無所能發明功名有著於當世者。

史記・中屠嘉傳

中訳：聊备一员。凑数而矣。

* 殷鑑^{いんかん}遠からず

日中：殷鑒不遠，在夏后之世。

詩經・大雅・蕩

中訳：殷鑑不远。

▲ 慙^{いんぎん}慙を通ずる

日：相如乃使人重賜文君侍者，通慙慙。

史記・司馬相如傳

中訳：(男女) 私通。苟合。野合。

* 印綬^{いんじゅう}を帯びる

日：項梁持守頭，佩其印綬，門下大驚擾亂。

史記・項羽本紀

中：終期脱印綬，亦與天壤存。

韋應物・餌黃精詩

中訳：出仕。做官。

* 印綬^{いんじゅう}を解^とく

日：其諸臧過者，望風解印綬去。

後漢書・賈琮傳

中：游得檄，亦解印綬去。

漢書・薛宣傳

中訳：解（印）綬。辞官。

* 陰德^{いんとく}あれば陽報^{ようほう}あり

日中：夫有陰德者，必有陽報。有陰行者，必有昭名。

淮南子・人間訓

中訳：有陰德者必有阳报。善有善报。

* 魚^{うお}と水

日中：孤之有孔明，猶魚之有水也。

三國志・諸葛亮傳

中訳：魚水情深。

* 魚^{うお}の釜^ふ中^{ちゅう}に遊ぶ^ごが若^{ごと}し

日：遂復相聚偷生，若魚游釜中，知其不可久。

通鑑・漢順帝記下

中：相聚偷生，若魚遊釜中，喘息須臾間耳。

後漢書・張綱傳

中訳：魚游釜中。

* 魚^{うお}の水^{みづ}を得^えたよう

日中：先生與諸葛亮情交日密，關羽，張飛等不悅，先生解之曰，孤之有孔明，猶魚之有水也，願諸君勿復言。

蜀志・諸葛亮傳

中訳：如魚得水。

▲ 魚^{うお}は江湖^{こくわう}に相忘^{あひわす}る

日：魚相忘於江湖，人相忘於道術。

莊子・大宗師

中訳：悠然自得。

* 魚^{うお}を得^えて釜^ふを忘^{わす}る

日中：釜者所以在魚，得魚而忘釜。

莊子・外物

中訳：得魚忘釜。过河拆桥。

☆ 浮世は夢

日：出典なし。

中：而浮生若夢，為歡幾何。

李白・春夜宴從弟桃李園序

中訳：浮生若夢。

* 兔死すれば狐^{きつね}これを悲しむ

日：鼯鳴而鼯應，免死則狐悲。

田藝蘅・玉芙蓉音

中：鄙高位羊質虎皮，見非辜免死狐悲。

元・汪元亨・折桂令・歸隱

中訳：免死狐悲。

☆牛に汗し棟^{むなぎ}に充つ

日：出典なし。

中：其為書，處則充棟字，出則汗牛馬。

柳宗元・文通先生陸給事墓表

中訳：汗牛充棟。

▲羽觴^{うしょう}を飛ばす

日：開瓊筵以坐華，飛羽觴而醉月。

李白・春夜宴從弟桃李園序

中訳：觥筹交错。

* 内に省みて疚^{やま}しからず

日中：内省不疚，夫何憂何懼。

論語・顔淵

中訳：内省不疚。

▲ 梁^{うつぱり}の塵^{ちり}を動かす

日：魯人虞公發聲清越，歌動梁塵。

文選・注・劉向別錄

中訳：歌声绕梁。

☆馬の耳に風

日：出典なし。

中：世人聞此皆掉頭，有如東風射馬耳。

李白・答王十二寒夜獨酌有懷

中訳：馬耳东风。

* 馬を鹿^{しか}

日中：趙高欲為亂，恐群臣不聽，乃先設驗，持鹿獻於二世，曰，馬也。二世笑曰，丞相誤耶。謂鹿為馬。問左右，左右或默，或言馬以阿順趙高。或言鹿，高因陰中諸言鹿者以法。後群臣皆畏高。

史記・秦始皇本紀

中訳：指鹿为马。

★* 海波を揚げず

日：天之不迅風疾雨也，海不波溢也，三年於茲矣。

韓詩外傳

中：出典なし。

中訳：海不扬波。

* 有無相通^{うむ}ずる

日：此天下之中，交易有無之路通。

史記・越世家

中：朋友有無相通，急難於我乎赴。

文天祥・劉定伯墓志銘

中訳：互通有无。

* 烏有^{うゆう}に帰^きす

日：夢當好處成烏有，歌到狂時近自然。

袁桷・次韻陳海陰詩

中：譬諸木犬，猶彼泥龍，循名督實，事歸烏有。

北齊書・文宣帝紀

中訳：①（何もなくなってしまうという意味から）化为乌有。

②（火災などですべてなくなるという意味から）化為灰烬。

* 怨^{こつずい}み骨髓に徹す

日中：繆公之怨此三人，入於骨髓。

史記・秦本紀

中訳：恨之入骨。恨入骨髓。

* 怨みに報ゆるに徳を以てす

日中：報怨以德。

老子・六三章

中訳：報怨以德。

* 恨みを飲む

日中：自古皆有死，莫不飲恨而吞聲。

江淹・恨賦

中訳：飲恨。

☆雲泥^{うんでい}の差

日：出典なし。

中：（吳蒼）遺書以觀其志曰，仲彥足下，勤處隱約，雖乘雲行泥，棲宿不同，
每有西風，何嘗不歎。

後漢書・逸民傳・矯慎

中訳：云泥之別。天壤之別。

* 運用^{うんよう}の妙は一心に存す

日中：陣而後戰，兵法之常。運用之妙，存乎一心。

宋史・岳飛傳

中訳：运用之妙，存乎一心。

* 絵の事は素^{しろ}きを後^{のち}にす

絵^{かいじ}事は素^そを後^{のち}にす

日中：繪事後素。

論語・八佾

中訳：绘事后素。

*^{えい}穎を脱す

日中：毛遂曰、臣乃今日請處囊中耳。使遂蚤得處囊中、乃穎脫而出、非特其末見而已。

史記・平原君虞卿列傳

中訳：脱穎而出。

▲^{えいすい}穎水に耳を洗う

日：堯讓天下於許由……由於是遁耕於中岳穎水之陽、箕山之下、終身無經天下色。堯又召為九州長、由不欲聞之、洗耳於穎水濱。

晉・皇甫謐・高士傳・許由

中訳：不求聞達。超然物外。

*^{あざむ}英雄人を欺く

日中：太白縱橫、往往彊弩之末、間雜長語、英雄欺人耳

李攀龍・唐詩選序

中訳：英雄欺人。

*^{えきすい}易水の歌

日中：白雪梁山曲、寒風易水歌。

駱賓王・夏日遊德州詩

中訳：易水歌

☆枝の雪

日：出典なし。

中：孫康家貧、常映雪讀書。

徐堅・初學記卷二

中訳：映雪读书。螢窗雪案。

* 枝を鳴らさず

日：太平之世，五日一風，十日一雨，風不鳴條，雨不破塊。

論衡

中：太平之世，則風不鳴條，開甲散萌而已。

董仲舒・雨雹對

中訳：風不鳴条。

▲ 枝を交わす

日：《連理枝》からでた言葉。

在天願作比翼鳥，在地願為連理枝。

白居易・長恨歌

中訳：共諧連理。

* 越^{えっしょうなんし}鳥南枝に巢くう

日中：胡馬依北風，越鳥巢南枝。

文選・古詩十九首

中訳：越鳥巢南枝。

▲ * 榮^{えよう}耀^{もち}に餅^{もち}の皮を剥く

日：鄭澣以儉素自居，尹河南。召甥姪與之會食。有蒸餅。鄭孫去其皮而後食之。澣大嗟怒謂曰，皮之與中何以異也。僕嘗病澆俗驕侈自奉，奈何囂浮甚於五侯家綺紈乳臭兒也。即因引手取所棄者。鄭孫錯愕失據，器而奉之，澣盡食焉。

事文續集・一七

中訳：穷奢极侈。

* 襟^{えり}を正す

日：蘇子愀然，正襟危坐而問客曰，何為其然也。

蘇軾・前赤壁賦

中：宋忠賈誼瞿然而悟，獵纓正襟危坐。

史記・日者列傳

中訳：①（衣服を整え，姿勢を正しくするという意味から）正襟危坐。

②（まじめな気持ちで物事に対処するという意味から）认真処理。

* 宴安は酖毒^{えんあん ちんどく}

日中：諸夏親昵，不可棄也。宴安酖毒，不可懷也。

左傳・閔公元年

中訳：宴安酖毒。

* 餓餓は滅せずんば炎炎を若何せん^{えんえん めつ いかん}

日中：餓餓不滅，炎炎若何。涓涓不壅，終為江河。

孔子家語・勸周

中訳：餓餓不灭，炎炎若何。

▲ 轅下の駒^{えん か こま}

日：上怒内史曰，公平生數言魏其，武安長短，今日廷論，局趣效轅下駒，吾並斬若屬矣。

史記・魏其武安侯傳

中訳：观望畏缩，不敢动作。

* 遠山の眉^{えんざん まゆ}

日中：為卷髮，號新髻，為薄眉，號遠山黛。

漢・伶玄・趙飛燕外傳

中訳：远山眉。远山黛。

* 燕雀安んぞ鴻鵠の志^{えんじゃくいずく こうこく こころざし}を知らんや

日中：陳涉太息曰，嗟乎，燕雀安知鴻鵠之志哉。

史記・陳涉世家

中訳：燕雀安知鴻鵠志。

▲ 遠水は近火を救わず^{えんすい}

日：失火而取水於海，海水雖多，火必不滅矣。遠水不救近火也。

韓非子・說林上

中訳：远水不救近火。

注：中国語としては“远水难救近火”のほうが良く使われています。

▲^{えんせき}円石^{せんじん}を千仞の山に転ず

日：決水於千仞之堤，轉圓石於萬仞之溪。

鬼谷子・本經陰符

中訳：勢不可当。

▲^{えん}偃鼠^そ河^{かわ}に飲むも満腹に過ぎず

日：偃鼠飲河，不過滿腹。

莊子・逍遙遊

中訳：偃鼠飲河，不过满腹。

▲^{えんとう}*鉛刀^{いっかつ}の一割

①

日：鉛刀貴一割，夢想騁良圖。

左思・詠史詩

中訳：（一度しか使えないという意味から）一次性。只可用一次。

②

日中：昔魏絳列國大夫，尚能和輯諸戎。況臣奉大漢之威，而無鉛刀一割之用乎。

後漢書・班超傳

中訳：（自分の微力を謙遜という言葉という意味から）鉛刀一割。

*^{えんりょ}遠慮^{きんゆう}なければ近憂あり

日中：子曰，人無遠慮，必有近憂。

論語・衛靈公

中訳：人无远慮，必有近忧。

*^お老いたる馬^{みち}は路を忘れず

日中：管仲，隰朋從於桓公而伐孤竹，春往冬返，迷惑失道，管仲曰，老馬之智可用也。乃放老馬而隨之，遂得道。

韓非子・說林上

中訳：老马识途。

★老いては子にしたが従え

日：一切女身，無所繫屬則受惡名。女人之體，幼則從父母，少則從父，老則從子。

大智度論・九九

中：出典なし。

中訳：老来从子。

*老いてはますますさかん壯なるべし

日中：丈夫為志，窮當益堅，老當益壯。

後漢書・馬援傳

中訳：老当益壯。

▲おうぎ ゆ ゆ扇忌々し

日：新裂齊紈素，皎潔如霜雪。裁為合歡扇，團團似明月，出入君懷袖，動搖微風發。常恐秋節至，涼風奪炎熱，棄捐篋笥中，恩情中道絕。

文選・班婕妤・怨歌行

中訳：秋扇見捐。

*おうこうしょうしょういずくん王侯將相寧しゅぞ種あらんや

日中：壯士不死即已，死即舉大名耳，王侯將相寧有種乎。

史記・陳涉世家

中訳：王侯將相宁有种乎。將相无种。

*おうこう王侯に事えずその事をこと高尚こうしょうにす

日中：上九，不事王侯，高尚其事。

易經・蠱卦

中訳：不事王侯，高尚其事。（不服务王侯，固为其人看重自身价值。）

▲おうじ もろ王事鹽きことなし

日：王事靡鹽，不能蓺稻粱。

詩經・唐風・鴇羽

中訳：王事必須堅牢，不可稍有疏忽。

注：王引之：“鹽者，息也”（やむ）とあり，近年中国で出版された注釈書は上記を王侯の労役はやむことなしと解釈している。

* ^{おうじ}王事を以て ^{かじし}家事を辞す

日中：不以家事辭王事，以王事辭家事，是上之行乎下也。

春秋公羊傳・哀公三年

中訳：以王事辞家事。

* ^{おうしゃいさ}往者諫むべからず

日中：往者不可諫，來者猶可追。

論語・微子

中訳：往者不可諫

注：中国語としてはあとの“來者猶可追”のほうが良く使われている。

* ^{おうしんけんけん り}王臣蹇蹇 ^{ゆえ}躬の故にあらず

日中：王臣蹇蹇，匪躬之故。

易經・蹇卦

中訳：王臣蹇蹇，匪躬之故。（王臣不避艰险以助君，绝不以个人利害为念。）

* ^{おうせつ いとま}応接に暇がない

日中：山川自相映發，使人應接不暇。

世說新語・言語

中訳：应接不暇。

* ^{おうむ}鸚鵡よく言えども ^{ひちょう}飛鳥を離れず

日中：鸚鵡能言，不離飛鳥。猩猩能言，不離禽獸。

禮記・曲禮上

中訳：鸚鵡能言，不离飞鸟。

166

*^{おくう}屋烏の愛

日：愛其人者，兼屋上之烏。

說苑・貴德

中：愛人者，兼其屋上之烏。

尚書大傳・卷三

中訳：愛屋及烏。

*^{おくか}屋下に^{おくか}屋を^{おくしょうおく}架す

日：魏晉以來，所著諸子，理事重複，遞相模敦，猶屋下架屋，牀上施牀耳。

北齊・顏之推・顏氏家訓・序致

中：謝太傅云，不得爾，此是屋下架屋耳。事事擬學而不免儉狹。

南朝・宋・劉義慶・世說新語・文學

中訳：屋上架屋。疊床架屋。

*^{おくろう}屋漏に^は愧じず

日中：相在爾室，尚不愧於屋漏。

詩經・大雅

中訳：不愧屋漏。

▲^{おご}奢る者は^{つね}心嘗に貧し

日：奢者富不足，儉者貧有余。奢者心嘗貧，儉者心嘗富。

譚子化書・儉化・天牧

中訳：奢者心嘗貧。

☆^{おし}鴛鴦の^{ふすま}衾

日：出典なし。

中：鴛鴦久別難為夢，鳳管遙聞更起愁。

唐・錢起・長信怨詩

中訳：鴛鴦。鴛鴦被。

*教うるは^{なか}学ぶの半ば

日：惟敦學半，念終始典於學。

書經・說命・下

中訳：教学相長。

☆ 頤^{おとがい} で人を使う

日：出典なし。

中：今逯等有地千里，有祿萬鍾，頤指氣使，無不隨順。

唐・元稹・追封李逯母崔氏博陵郡太君制

中訳：頤指氣使。

☆ 同じ穴の貉^{むじな} = 一つの穴の貉

日：出典なし。

中：古與今，如一丘之貉。

漢書・楊惲傳

中訳：一丘之貉。

注：貉は最初同類・仲間という意味だったが、のちに日本語も、中国語も悪者についていうようになった。

* 己^{おのれ} 達せんと欲して人を達せしむ

日中：夫仁者己欲立而立人，己欲達而達人。

論語・雍也

中訳：己欲達而达人。

* 己^{おのれ} に克^かち礼^{かえ}に復る

日中：克己復禮為仁，一日克己復禮，天下歸仁焉。

論語・顔淵

中訳：克己復礼。

* 己^{おのれ} に如^しかざる者を友とするなかれ

日中：主忠信，毋友不如己者。過則勿憚改。

論語・學而

中訳：毋友不如己者。

* ^{おのれ}己の^{ほつ}欲せざる所は人に^{なか}施す勿れ

日中：其恕乎，己所不欲，勿施於人。

論語・衛靈公

中訳：己所不欲，勿施于人。

* ^{おのれ}己を^ま枉ぐ

日中：吾末聞枉己而正人者也，況辱己以正天下者乎。

孟子・萬章上

中訳：枉己正人。

* ^{おのれ}己を^{むな}虚しゅうす

日：周既克殷，以箕子歸，武王親虚己而問焉。

漢書・五行志上

中：君子盛德而卑，虚己以受人。

韓詩外傳・卷二

中訳：虚己以听。虚己受人。

▲おひげの^{ちり}塵を払う

日：丁謂出（寇）準門至参政，事準甚謹。嘗會食中書，羹汚準鬚，謂起，徐拂之。準笑曰，參政國之大臣，乃為官長拂鬚邪。

宋史・寇準傳

中訳：溜須拍馬。

* 思い内にあれば色外にあらわる

日中：此謂誠於中，形於外。

大學

中訳：思于中則形于外。

▲思い半ばに過ぐ

①

日中：知者觀其彖辭，則思過半矣。

易・繫辭下

中訳：(考えてみて思い当たることが多いという意味から) 思过半(矣)。

②

日：同上。

中訳：(考えた以上なので感無量であるという意味から) 感慨良多。

* 思い^{よこしま} 邪 なし

日：詩三百，一言以蔽之，曰，思無邪。

論語・為政

中：思無邪，思馬斯徂。

詩經・魯頌・駟

中訳：思无邪。

☆ 面^{おもて}を冒^{おか}(=犯)す

日：出典なし。

中：桓公間置吏於管仲，曰，犯顔極諫，臣不如東郭牙，請立以為諫臣。

韓非子・外儲左下

中訳：犯顔進諫。

* 可^かもなく不可^{いか}もなし

日中：我則異於是，無可無不可。

論語・微子

中訳：无可无不可。

* 科^かに盈^みちて後^{のち}進む

日中：原泉混混，不舍晝夜，盈科而後進，放乎四海。

孟子・離婁下

中訳：盈科后进。(喻打下坚实基础后而进。)

* 寡^かは衆^{しゅう}に敵せず

日：寡固不可敵衆，弱固不可敵強。

孟子・梁惠王上

中：民至億兆，后一而已，寡不敵衆，後其危哉。

逸周書・芮良夫

中訳：寡不敌众。

* 駕^がを枉^まげる

日：此人可就見，不可屈致也。將軍宜枉駕顧之。

蜀志・諸葛亮傳

中：良人惟古歡，枉駕惠前綏。

古詩十九首・凜凜歲雲暮

中訳：枉駕。移樽就教。

▲ 隗^{かい}より始めよ

日：今王誠欲致士，先從隗始，隗且見事，況賢於隗者乎。

戰國策・燕策

中訳：（事を始めるには，まず自分自身が着手せよという意味から）以身作則。率先示范。表率。

* 凱歌^{がい か}をあげる

日：凡軍大獻，教愷（＝凱）歌，遂唱之。

周禮・春官・樂師

中：所謂王大捷則令愷（＝凱）樂，軍大獻則令凱歌者也。

周禮・春官・大司樂

中訳：奏凱歌。

▲ 会稽^{かいけい}の恥^{はじ}

日：苦身戮力，與勾踐深謀二十余年，竟滅吳報會稽之恥。

史記・越世家

中訳：報会稽之恥。

* 解語^{かいご}の花

日中：明皇秋八月，太液池有千葉白蓮數枝盛開，帝與貴戚宴賞焉。左右皆歎羨，久之，帝指貴妃示於左右曰，爭如我解語花。

五代・王仁裕・開元天寶遺事・解語花

中訳：解語花。

* 骸骨^{がいこつ}を乞^こう

日中：臣愚不能復治東阿，願乞骸骨，避賢者之路。

晏子春秋・外篇上二十

中訳：乞骸骨（使用頻度は低い）。告老还乡。解甲归田。

* 睚眦^{がいさい}の怨^{うら}み

日中：一飯之恩必償，睚眦之怨必報。

史記・范雎傳

中訳：睚眦之怨。睚眦之忿。睚眦之怒。睚眦之隙。

* 咳唾^{かいだ}珠^{たま}を成す

日：勢家多所宜，咳唾自成珠。

趙壹・刺世疾邪賦

中：儼白妃青從檢點，咳珠唾玉定紛綸。

林學衡・新猛近稍習詞章

中訳：咳唾成珠。

☆ 快刀^{らん}乱^ま麻^たを断つ

日：出典なし。

中：高祖嘗試觀諸子意識，各使治亂絲，帝獨抽刀斬之，曰，亂者須斬。

北齊書・文宣帝紀

中訳：快刀斩乱麻。

▲ 海棠^{かいどう}睡^{ねむり}未^い足^{まだ}らず

日：上皇登沈香亭，召太真妃子，妃子時卯醉未醒，命力士從侍兒，扶掖而至，上皇笑曰，豈是妃子醉，直是海棠睡未足耳。

佩文韻府引楊太真外傳

中訳：海棠睡未足。

172

* 顧^{かえり}みて他^たを言う

日中：曰、四境之内不治、則如之何。王顧左右而言他。

孟子・梁惠王下

中訳：顧左右而言他。

* 河海^{かかい}は細流^{えら}を挾^{えら}ばず

日中：泰山不讓土壤、故能成其大。河海不擇細流、故能就其深。

史記・李斯傳

中訳：河海不擇細流。

▲ 河漢^{かかん}の言^{げん}

日：吾聞言於接與、大而無當、往而不返。吾驚怖其言、猶河漢而無極也。大有逕庭、不近人情焉。

莊子・逍遙遊

中訳：迂闊之論。不切实际的言論。河漢（使用頻度は低い）。

* 蝸牛^{かぎゅう}角上^{かくじょう}の争い

日中：有國於蝸之左角者曰觸氏、有國於蝸之右角者曰蠻氏。時相與爭地而戰、伏屍數萬、逐北旬有五日而後反。

莊子・則陽

中訳：蝸角之爭。蚩触之爭。

▲ 隠れたるより現るるはなし

日：莫見乎隱、莫見乎微。

中庸

中訳：欲蓋弥彰。

* 影^{かげ}の形^{かたち}に随^{したが}うが如し

日：福樂自追、如影隨形。

法句經・上

中：然故下之事上也、如響之應聲也。臣之事主也、如影之從形也。

管子・任法

中訳：如影随形。

* 影^{かげ}を畏^{おそ}れ迹^{あと}を惡^{にく}む

日中：人有畏影惡迹而去之走者，舉足愈數而迹越多，走愈疾而影不離身。自以為尚遲，疾走不休，絕力而死。不知處陰以休影，處靜以息迹，愚亦甚矣。

莊子・漁父

中訳：畏影惡迹。畏影避迹。庸人自扰。

▲佳肴^{かこう}ありと雖^{いえど}も食^くらわずんばその旨^{うま}きを知らず

日：雖有佳肴，弗食不知其旨也。雖有至道，弗學不知其善也。

禮記・學記

中訳：虽有佳肴，弗食不知其旨也。

▲家書^{かしょばんきん}万金^{あた}に抵^ある

日：烽火連三月，家書抵萬金。

杜甫・春望詩

中訳：家书抵万金。

▲華胥^{かしょ}の国^{くに}に遊^{あそ}ぶ

日：（黃帝）晝寢，而夢遊於華胥氏之國。

列子・黃帝

中訳：睡午觉。

注：中国語の〔华胥梦〕は夢を見るという意味であって，昼寝をするとは限らない。

* 風枝^{ふうし}を鳴^ならさず

日中：風不鳴條，風不破塊，五日一風，十日一雨。

論衡・是應

中訳：风不鸣条。

* 風に^{くしけず}櫛^{かみあら}り雨に沐^あう

〈雨に沐い、風に櫛る〉の項を参照。

* 風に^{したが}順^{したが}いて呼ぶ

日中：登高而招，臂非加长也，而见者远，顺风而呼，声非加疾也，而闻者彰。

荀子・勸學

中訳：顺风而呼。

▲ 風に^{なび}靡^{なび}く草

日：君子之德风也，小人之德草也。草上之风必偃。

論語・顔淵

中訳：草随风靡。

▲ 風の前の塵^{ちり}〈燈火^{ともしび}〉

日：百年未幾時，奄若風中燭。

古樂府・怨詩行

中：我將世事都參透，幻身軀似風中秉燭，可憐見便似兀那水上浮漚。

元・無名氏・《村樂堂》第一折

中訳：①（物事のもろくはかないことのたとえという意味から）風中秉燭。

風中之燭。

②（危険が迫っていることのたとえという意味から）迫在眉睫。

注：中国語の“风烛”は主に年を取り，病弱であるという意味で使わ

れる。

* 風を吸^すい露^{つゆ}を飲^のむ

日中：藐姑射之山，有神人居焉。肌膚若冰雪，綽約若處子，不食五穀，吸風飲露。

莊子・逍遙遊

中訳：吸风饮露。

▲ 河清^{かせい}を俟^まつ

日：周詩有之，曰，俟河之清，人壽幾何。

左傳・襄公八年

中訳：俟河之清。

* 苛^{かせい}政^{とら}は虎^{たけ}より猛し

日中：夫子曰，小子識之，苛政猛於虎也。

禮記・檀弓下

中訳：苛政猛于虎。

▲肩を並べる

日：吾烹人之兄，與其弟併肩而事其主。

史記・田儼傳

中：又吾烹人之兄，與其弟併肩而事主，縱彼畏天子之詔，不敢動搖，我獨不愧於心乎。

漢書・田儼傳

中訳：①（並んで立つという意味から）并肩。

②（対等な地位に立つという意味から）并驾齐驱。

* 堅き氷は霜^{しも}を履むより至る

日：初六，履霜堅冰至。象曰，履霜堅冰，陰始凝也。馴致其道，至堅冰也。

易經・坤卦

中訳：履霜堅冰。

（中国語・法学部教授）